



経営管理委員会会長 福吉 秀一



代表理事理事長 福森 俊一

平素より、私ども鹿児島県信用農業協同組合連合会（ＪＡ鹿児島県信連）をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

本会は、昭和23年の設立以来、県下の農業協同組合（ＪＡ）とともに、農業専門金融機関として、鹿児島県農業の振興と農家経済の向上を金融面から支援させていただくとともに、地域金融機関として、地域社会、経済の発展に貢献すべく、事業の展開に努めてまいりました。

さて、わが国の経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されておりますが、中東情勢や金融資本市場変動の影響などに十分注意する必要があります。

農業を取り巻く情勢は、農家戸数の減少や高齢化等により生産基盤の弱体化がすすみ、加えて、不安定な国際情勢等による生産資材価格の高止まりや自然災害の激甚化など、日本農業に深刻な打撃を及ぼしています。また、「食料・農業・農村基本法」の改正に伴い、ＪＡグループ等農業関係団体が基本理念の実現や食料・農業・農村振興に重要な役割を果たすことが求められており、ＪＡグループ内外と連携して今後もその役割を発揮していく必要があります。

このような中、本県の農業は、農業産出額が8年連続全国2位となり、日本を代表する食糧生産基地として、本県農業への期待は高まっております。

これらの情勢を踏まえ、ＪＡバンクでは、ＪＡ・信連・農林中金が一体となった「ＪＡバンクシステム」の運営により、さらなる経営の健全性・信頼性確保に取り組むとともに、農業専門金融機関としての本来的役割発揮、ならびに地域金融機関としての総合金融サービスの提供に努め、組合員・地域の皆さま方に信頼されるよう取り組んでまいり所存でございます。

更に、ＪＡグループでは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とする「ＪＡグループ自己改革」に取り組んでおります。本会といたしましても、「ＪＡバンク自己改革」の取組みにより、引き続き金融サービスの提供を通じて農業の振興と地域社会の発展に貢献してまいります。

今般、本会に対するご理解・ご信頼を一層深めていただくため、ＪＡ鹿児島県信連の経営方針・事業の内容、令和7年度の業績等を取りまとめた「ＪＡ鹿児島県信連の現況 2026」（ディスクロージャー誌）を作成いたしましたので、ご一読いただければ幸いに存じます。今後とも皆さまの一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年7月

経営管理委員会会長 福吉 秀一

代表理事理事長 福森 俊一